

令和 8 年度

試験名: 推薦入試

【人間学群 心理学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
「小論文」問題	<p>1. 問題文の選定・出題理由</p> <p>問題文（英文）は、2024 年に Psychology Today に掲載された Alós-Ferrer による論文紹介記事 ”Winners Do Quit: Dare to Give Up”から抜粋・改変したものである。問題文では、非現実的な目標に固執することの精神的な悪影響や諦めるという方略について、特に心理学を専門としない読者も想定し、平易に解説されている。本文では、一般的に、諦めないことが美德とされているが、あえて特定の目標を諦めて別の方向にエネルギーを費やすことで長期的にはポジティブな影響があると主張している。そしてどのように諦めるべきかというヒントについて丁寧に説明されている。このような点で、心理学類を志望する受験生にとって有益な題材であり、英文の難易度も適切であると判断し、これを選定するに至った。</p> <p>問 1 は、下線部①を日本語に適切に訳すことができるかどうかを問う問題である。下線部①は問題文全体で述べられていることを示す重要な箇所であり、心理学の英語論文でよく使われる単語・表現である。この文章について適切に訳出できるかを問う。</p> <p>問 2 は、下線部②にあたる、特定の目標に固執することの 2 つの問題点について、文章をまとめ理解し、それらを日本語で適切にまとめられるかを問う問題である。</p> <p>問 3 は、本文全体の内容を理解した上で、自分の意見を適切に述べることができるかどうかを問う問題である。本文では、諦めることは失敗ではなく選択でありポジティブな意味を持つことが説明されている。ここでは、本文の主題を理解した上で自身の経験などに照らし合わせて多角的に想像・思考し、論述できるかが問われる。</p> <p>2.</p> <p>問 1 下線部①を日本語に訳しなさい。</p> <p>(1)</p> <p><解答例></p> <div data-bbox="424 1644 1426 1783" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">(この部分は、著作権の都合により公開できません)</div> <p>問 2 下線部②の two problems が何であることを 200 字以内で説明しなさい。</p>

<解答例>

過度に粘り強く目標を追求することの2つの問題点を指している。1つ目の問題は、目標や夢が現実的ではない可能性があることだ。成功者の物語には選択バイアスが含まれており、「あなたが成功する確率」については何も情報を与えない。2つ目の問題は、時間やエネルギーは有限であり、非現実的な目標に拘ることによって他の有益な機会を逃してしまう点である。経済学ではこれを機会損失と呼ぶ。(180字)

問3 本文の最終段落 (Last and most important から始まる段落) の主張についてどう思うか、あなた自身の経験をもとに 600 字以内で述べなさい。